

府内最古の太政官布達公園・住吉公園は 来年(2023年)開設150周年を迎えます

鳳土木事務所が所管する府営住吉公園(明治6年8月2日開設)が令和5年(2023年)に開設150周年を迎えるにあたり、都市公園住吉公園指定管理共同体の主催により、7月22日(金)に、住吉大社吉祥殿において「編集者が魅力を語る公開フォーラム『住吉公園 歴史探訪』」を開催しました。
(共催：住吉大社、後援：大阪府・大阪市教育委員会・堺市・住之江区・住吉区・西成区)

当公園は、明治6年(1873年)の太政官布達により住吉大社の境内地が公園として開設された日本最古の公園の一つです。今日まで、時代や社会情勢、環境等の変化に適応しながら変遷を遂げ、悠久の歴史を刻んで地域や来園者に親しまれてきました。当日は参加者81名で祝賀ムードに包まれました。

記念事業「住吉公園歴史探訪」の刊行

住吉公園の歴史をたどり、開設当初からどのように利用され、どのような変遷を遂げてきたかを記録として取りまとめ、次世代へ継いでいくため、平成30年(2018年)12月より、「住吉公園歴史探訪」(年4回の季刊誌)を発行しています。

【主な編集者】

大阪公立大学/住吉大社/(一財)荻田土地改良記念コミュニティ振興財団/NPO法人remo記録と表現とメディアのための組織/NPO法人国際造園研究センター/大阪府庁08の皆様

【発行部数】

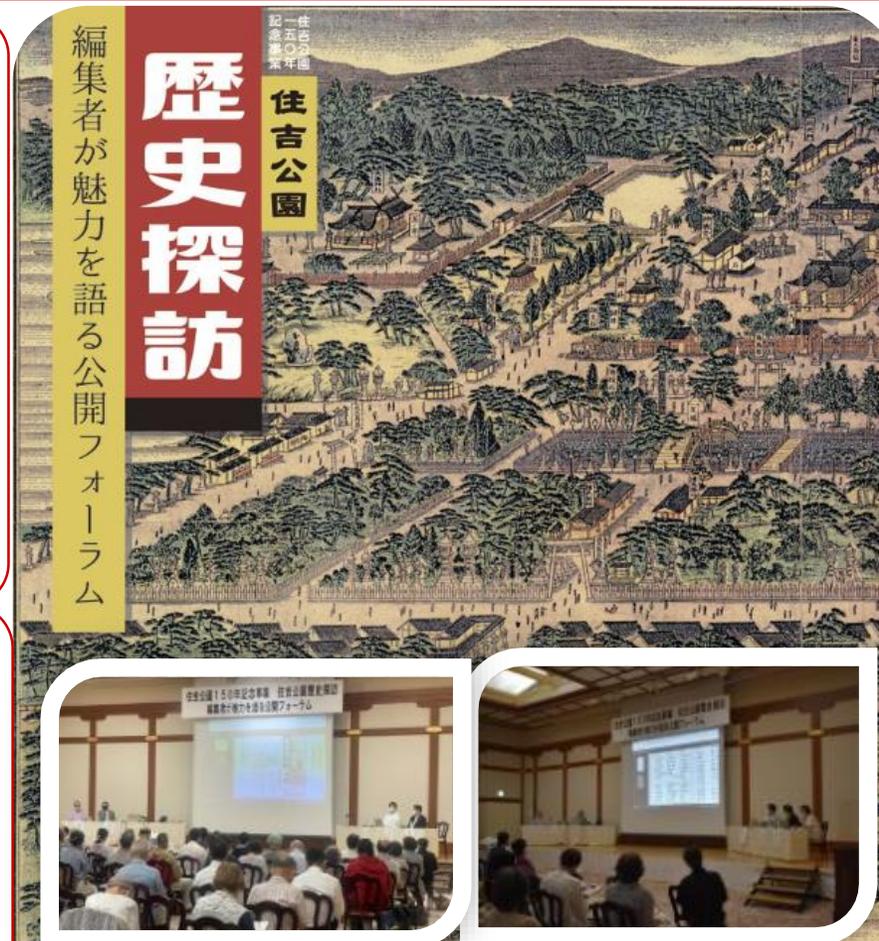
4,500部(3か月に一度)

【配付及び公開先】

地域公共施設及びホームページ

【発行実績】

令和4年(2022年)9月で第16号を発行。



資料展示



参加者の皆さんは会場内のパネル展示(絵図・史料・写真等)を観覧し、パネラーの解説に熱心に耳を傾けていました。

フォーラム

編集者6名が各専門分野の立場から、「住吉公園歴史探訪」の編集会議を進めるにあたっての魅力語りを行いました。

【開会あいさつ】

大阪府鳳土木事務所 都市みどり課 課長 阪田 諭
都市公園住吉公園指定管理共同体 代表
株式会社美交工業 専務取締役 福田 久美子

【フォーラム】

- 「編集会議」と『誌面余白調整』の妙
編集代表 大阪公立大学 水内 俊雄 氏
- 「住吉公園の誕生」(一財)荻田土地改良記念コミュニティ振興財団 寺田 孝重 氏
- 「住吉公園と住吉大社」 住吉大社 小出 英詞 氏
- 「住吉公園、大阪府の公園になる」 大阪府庁公園08 荒木 美喜男 氏
- 「公園と都市計画」 NPO法人国際造園研究センター 繁村 誠人 氏
- 「展示資料について」 NPO法人remo 記録と表現とメディアのための組織 櫻田 和也 氏



150周年記念事業 所内プロジェクトチーム

7月8日(金)技監・次長事業推進のフリーディスカッションにおいてご意見を頂きました所内取組組織の設置について、7月26日(火)に住吉公園・浜寺公園開設150周年記念事業所内プロジェクトチームを立ち上げました。所管する2公園の記念事業を立案していきます。